

授業科目名・形態	助産診断・技術学Ⅱ	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	工藤 優子・日沼ゆかり	開講期	3年後期	単位数 1

【授業の主題】

助産診断Ⅰで学習した知識を基に、妊娠期・産褥期・新生児期にある対象者を総合的に捉え、助産診断・助産過程を展開するための健康診査・保健指導について学習する。また、母乳育児をはじめとした育児支援技術や、乳幼児の健康診査、地域での継続支援について学習する。また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念と意義を基盤に、女性のライフスタイル各期の特徴や発達課題から対象者を理解し、女性が生涯にわたって健康な生活を送ることができるような健康教育・援助方法について学習する。

【授業の目標】

1. 妊娠期・産褥期・新生児期の助産過程を理解できる
2. 妊娠期・産褥期・新生児期の助産診断に必要な専門的技術を学習し、実践できる
3. 妊娠・産褥・新生児期の助産ケア・保健指導の実際を理解し、実践できる
4. 母乳育児支援、育児支援ができる。
5. 女性が生涯にわたって健康である支援を考えることができる。

【授業計画・内容】

- 第1回 妊娠期のフィジカルアセスメントと助産診断
- 第2回 妊娠期の助産ケア・保健指導
- 第3回 産褥期のフィジカルアセスメントと助産診断
- 第4回 産褥期の助産ケア・保健指導
- 第5回 新生児期のフィジカルアセスメントと助産診断
- 第6回 新生児期の助産ケア
- 第7回 母乳育児支援の実際
- 第8回 妊娠期における保健指導の実際
- 第9回 出産準備教室の計画と実施①
- 第10回 出産準備教室の計画と実施②
- 第11回 産褥期における保健指導の実際
- 第12回 受胎調節実地指導員の役割
- 第13回 地域における助産師活動の実際（日沼）
- 第14回 地域における助産師活動の実際（日沼）
- 第15回 更年期・老年期の特徴と健康教育

【授業実施方法】

講義・演習

【授業準備】

講義内容をふまえ、関連する教科書の範囲を読んでおくことと復習をすること。

【教科書等】

助産学講座 5・6・7・8（医学書院）

【参考資料】

随時資料配布

【成績評価方法】

レポート・演習 50%、試験 50%

【関連する科目】

基礎助産学 助産診断・技術学Ⅰ

【学生へのメッセージ】

周産期にある女性と新生児をケアするための実践的な講義です。臨床場面をイメージし、なぜそのようにするのかなど根拠を考えながら学習しましょう。